

新たな都心空間調査特別委員会資料

令和7年6月10日

(1) 札幌駅交流拠点のまちづくりについて 目次

- 1 これまでの経緯P2
- 2 札幌駅交流拠点まちづくり計画
- 3 北5西1・西2地区市街地再開発事業(経緯)
- 4 北5西1・西2地区市街地再開発事業(概要)P3



1 これまでの経緯

- H24(2012)年3月 「札幌駅交流拠点再整備構想案(提言)」
- H28(2016)年5月 「第2次都心まちづくり計画」策定
- H29(2017)年2月 「札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想」策定
- H30(2018)年3月 新幹線札幌駅ホーム位置(大東案)決定
- H30(2018)年9月 「札幌駅交流拠点まちづくり計画」策定

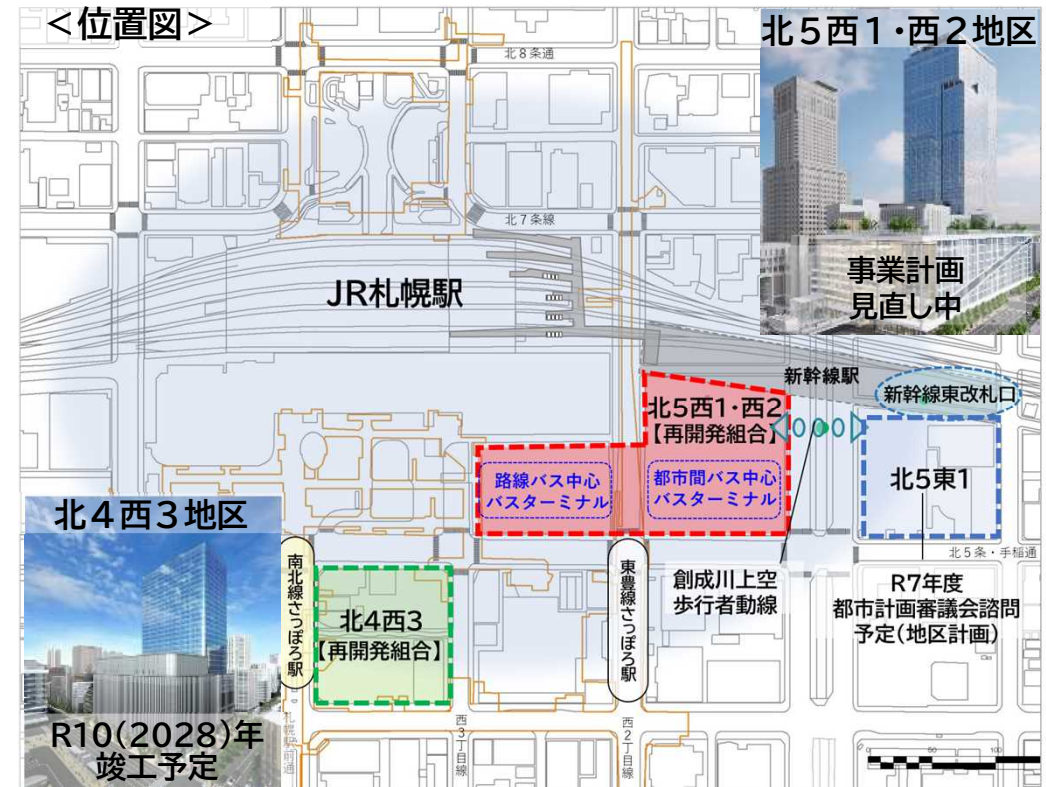
2 札幌駅交流拠点まちづくり計画

○ まちづくりの目標

- 1 北海道・札幌の国際競争力をけん引し、その活力を展開させる「起点」の形成
- 2 北海道新幹線札幌開業を見据えた再整備の確実な推進

○ 基本方針

- 1 街並み形成
北海道・札幌の玄関口にふさわしい、魅力的で一体感のある空間の形成
- 2 基盤整備
多様な交流を支える、利便性の高い一大交通結節点の形成
- 3 機能集積
多様な交流を促進し経済を活性化する都市機能の集積
- 4 環境配慮・防災
低炭素で強靱なまちづくりの推進



3 北5西1・西2地区市街地再開発事業(経緯)

- R1 (2019)年11月 再開発準備組合設立
- R4 (2022)年10月 再開発事業都市計画決定
- R5 (2023)年 3月 再開発組合設立認可
- R7 (2025)年 3月 事業見直しの方針公表**

(組合員)

北海道旅客鉄道(株)、札幌駅総合開発(株)、
ジェイ・アール北海道バス(株)、JR北海道ホテルズ(株)、札幌市

4 北5西1・西2地区市街地再開発事業（概要）

○ 開発コンセプト

世界へつながる“さっぽろ”の新たな顔づくり
～国内外からの来街者や市民が交流する交通結節点の形成～

- 1 交流を促す多様なパブリックスペースの形成
- 2 交通結節点の機能強化
- 3 札幌の観光・ビジネスハブ機能の整備
- 4 都市の脱炭素化・強靱化に寄与する拠点の整備

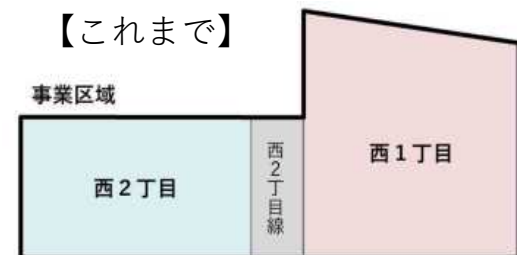
○ 今後の進め方 ※R7(2025)年3月JR公表

- ・全国的な建築資材の高騰や多数の大型プロジェクトの重複による労務の競合により、工事費が高騰しているため、以下のとおり計画を見直す。

【事業の進め方】

- ・労務の平準化のため、建物を分割して街区ごとに段階的に施工する。
- ・西2街区を先行して整備し、**2030年度末竣工**を目指す。
- ・西1街区は西2街区との工事重複を避け着手し、**2034年度末竣工**を目指す。
- ・先行して整備する西2街区バスターミナルの効果的な活用について検討する。

【これまで】

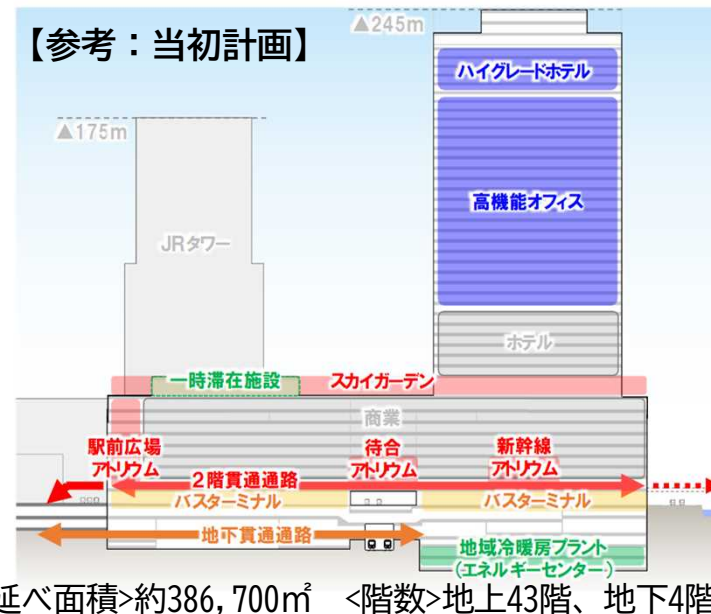


【今後】



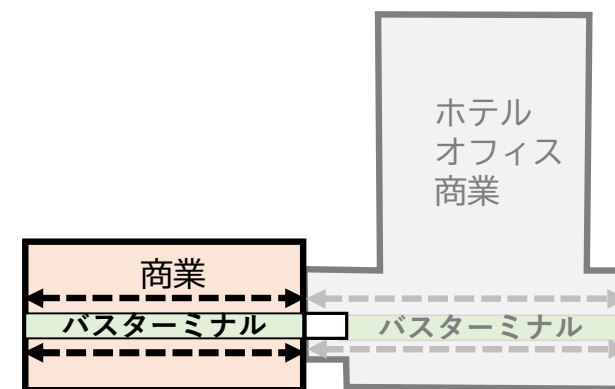
	'23	'24	'25	'26	'27	'28	'29	'30	'31	'32	'33	'34
西2丁目		解体工事	新築工事	★竣工								
		設計										
西1丁目			設計	新築工事	★竣工							

	'23	'24	'25	'26	'27	'28	'29	'30	'31	'32	'33	'34
西2丁目		解体工事	新築工事	★竣工								
		設計										
西1丁目			基本計画・設計	新築工事	★竣工							



【施設計画の考え方】

- ・まちづくりの基本的な考え方や導入用途の大きな変更はせず、バスターミナルや東西歩行者ネットワークなど、高度な交通結節機能や公共的機能を整備する。



【西2街区施設規模】
延べ面積：約90,000㎡
階数：地上10階
地下2階

【西1街区施設規模】
延べ面積：検討中
階数：検討中